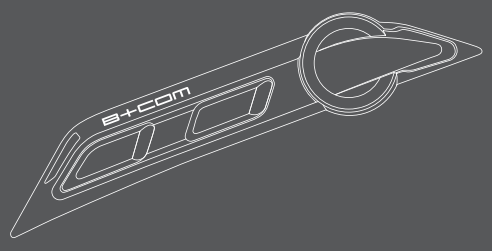
SYGN HOUSE

B+COM SX1



取付マニュアル／クイックマニュアル

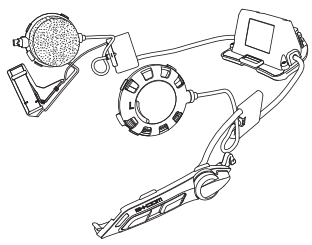
B+COM SX1の構成

セット内容

製品パッケージには以下のパーツが同梱されています。
ご使用前にすべてが揃っていることを確認ください。
万が一、不足がございましたら、お手数ですが
お買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

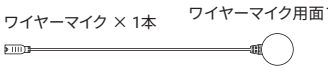
クイックマニュアル（本書）× 1部

SX1 本体 × 1台

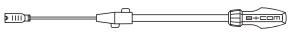


保証書 × 1部

USB Type-Cケーブル（100cm）× 1本



アームマイク × 1本

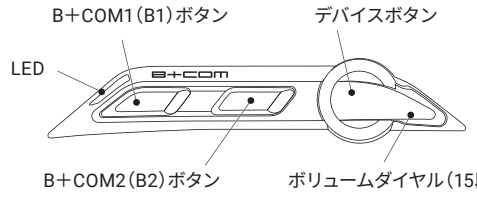


アームマイク用スポンジ × 1個

ワイヤーマイク × 1本

ワイヤーマイク用面ファスナー×1枚

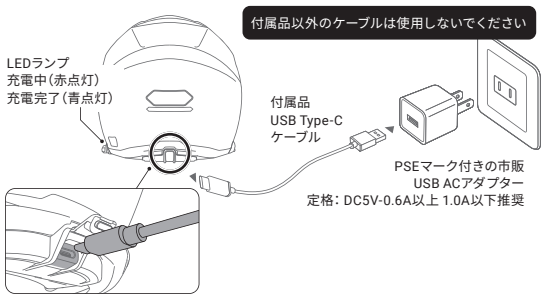
操作ボタンについて



充電方法

※本製品には、充電用ACアダプターは同梱されておりません。
PSEマークの付いた市販のUSB ACアダプターをご使用ください。

初めて使用するときは、必ず充電してください。



B+COM本体の充電、およびソフトウェアアップデートについては、
付属の「USB Type-Cケーブル」を必ず使用してください。
市販の「USB Type-Cケーブル」を使用した場合、本体の故障、トラブル
（発熱、発火）の原因となる恐れがあります。

USB Type-C 端子へ挿入する際は、水分、ゴミ、汚れ等を必ず除去し、
無理な力を掛けずに、正しく確実に挿入してください。

使用後は必ず充電してから保管してください。
長期保管時は、1ヶ月に1回程度は追充電を行ってください。

SX1ユーザーズマニュアル

操作方法及び、保証内容など
詳しくはWEBサイトにて公開する「SX1ユーザーズマニュアル」をご確認ください。
https://sygnhouse.jp/pdf/sx1_users_manual.pdf

安全に正しくお使いいただくために

- B+COM SX1 は精密部品で構成された電子機器です。ご使用になる前に、この「使用上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ユーザーズマニュアルには、お使いになるあなたや、他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全なご使用のために守っていただきたい事項を記載しています。
- お子様がお使いになる場合は、保護者などの大人がユーザーズマニュアルをよくお読みになり、安全で正しい使い方をご指導ください。
- オートバイ運転中の携帯電話や通信機等の使用に関しては、事前に使用地域の法律条例等をよくご確認ください。
- オートバイ運転中に本製品を使用する場合、自己責任で安全運転を心掛けてください。
- 表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をご理解の上、本文をお読みください。

⚠危険
指示に従わない場合、
死亡または重大な傷害に至ることを示します。

⚠警告
指示に従わない場合、
死亡または重大な傷害に至る可能性があることを示します。

⚠注意
指示に従わない場合、
傷害に至る可能性があることを示します。

＜使用上の注意＞

⚠危険

- 分解、改造、修理をしないでください。本製品の発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となり、ケガをする恐れがあります。
- 水がかかる場所への放置、または水没させないでください。本製品は防水仕様ですが、長時間にわたり水がかかる環境下での使用は想定しておりません。また、本体が濡れた状態や濡れた手でマイクパーツやUSBジャック接続パーツの着脱を行わないでください。発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となります。
- 高温多湿になる場所、熱器具の近くでの充電、放置は避けてください。発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となります。
- 異常状態のまま使い続けないでください。発煙や焦げ臭いなどの異常を放置して使用すると、発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となります。ただちに使用を中止して、販売店に検査および修理の依頼をしてください。
- ボリューム設定に気を付けてください。突然の大音量、継続的な大音量は鼓膜の損傷や難聴の原因となります。
- 自動ドアなどの近くでは使用しないでください。自動ドアや火災報知器の自動制御装置が誤作動する恐れがあります。
- 気温の低い場所から、屋内などへ移動した場合、本体内に結露が発生することがあり、そのまま使用を続けたり、充電をすると発熱、破裂、発火、故障の原因となります。

⚠警告

- 大音量で聴きながらの運転は危険です。運転に必要な様々な音が聞き取れなくなり、重大な事故の原因となります。また、音に集中すると運転意識の低下につながり、重大な事故の原因となります。
- 雷鳴が聞こえた場合、ただちに使用を中止し、安全な場所に避難してください。落雷や感電に見舞われる恐れがあります。
- 医療機器などの近くでは電源を切ってください。Bluetoothの電波は微弱ですが、医療向け計測器、心臓ペースメーカーなどの近くでは使用を控えてください。それら機器をお使いの場合は、機器製造メーカーや販売店に電波による影響についてをご確認ください。
- 飛行機の中では使用しないでください。電波が影響を及ぼし、事故の原因になる恐れがあります。

＜電池に関するご注意＞

B+COM SX1は内蔵バッテリーにリチウムイオン電池を使用しています。

⚠警告

- バッテリーパックから漏れた液が目や肌に付着した時は、こすらずに清潔な水で洗い流してください。洗い流した後は、早急に眼科や皮膚科などの医師の診断を受けてください。漏れた液が本体内部に残っていることがあるので、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 家庭用コンセントからの充電の際は指定のUSB ACアダプターを使用してください。指定以外のUSB ACアダプターを使用すると、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。
- USB ACアダプターを使用する場合、指定以外の電源、電圧で充電しないでください。交流100V-240V以外の電源、電圧で充電すると火災や故障の原因となります。
- 長期間使用しない時はUSB ACアダプターをコンセントから抜いてください。挿したままの状態で放置すると、発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となります。
- 充電時には接続端子にゴミや汚れ、水分などが付いていないか確認してください。
- 内蔵バッテリーは消耗品です。劣化した状態の内蔵バッテリーで製品を使用し続けるとバッテリーの発熱、破裂、発火、故障の原因となります。満充電後の使用時間が短くなった場合は、内蔵バッテリーの劣化が考えられます。内蔵バッテリーの交換（有償）を推奨します。弊社サポートセンターにご連絡ください。

⚠注意

- USBジャックに金属片を接触させないでください。内蔵バッテリーがショートして発熱、破裂、発火する恐れがあります。

Li-ion
リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。
製品が不要になった場合には、お住まいの市区町村
または自治体のルールに従って処分してください。

電源を入れてみよう

電源ON
押したまま
上へ
1秒間
回す
LED 青 1秒間点灯
サウンド ビーコム起動

電池残量通知
LED 80%以上…青 1秒間点灯
50%以上…紫 1秒間点灯
30%未満…赤 1秒間点灯
要充電……赤 2回点滅
サウンド 電池残量○○%
充電してください（要充電の場合）

スタンバイ
LED 青 点滅

電源OFF
押したまま
下へ
1秒間
回す
LED 赤 1秒間点灯
サウンド ビーコム終了します

スマートフォンと接続して音楽や電話をしてみよう

Ⅰ B+COMとスマートフォンをペアリング（初期登録）する。

スマートフォンとの接続をしない方は
STEP3へお進みください ▶

①
電源
OFFに
する

②
押したまま
上へ
4秒間
回す
LED 青＋赤 高速点滅
サウンド「ビーコム起動」
「デバイス1ペアリング…」

③
スマートフォンの操作
デバイス側の
Bluetoothを
ONにし
登録可能な機器 リストから
「B+COMSX1」を選択
「接続済み」等の 表示で完了です。

④
B+COMの表示
LED 青 ゆっくり点滅
サウンド「デバイス1接続」
完了です。

一度ペアリングを行えば、電源のON/OFFを行っても登録情報は消えないので、電源を入れてすぐに自動で接続が可能です。

Ⅱ 音楽やラジオ（アプリ）、ナビ音声案内を聴く。

スマートフォンの操作
・音楽プレーヤー
・ラジオアプリ
・ナビアプリ
アプリを起動し
再生します。

音量調整
ボリュームダイヤル
上に1回 上がる
下に1回 下がる

再生/一時停止
デバイスボタン
押すごとに
再生/一時停止

曲の頭出し/スキップ
ボリュームダイヤル
上に1秒間 スキップ
下に1秒間 頭出し

Ⅲ ハンズフリーで通話する。

着信/通話
音楽再生中は曲が停止し、着信音が鳴ります。
デバイスボタン
1回押すと電話に応答
通話中に1回押すと終話
※音量調整はⅡと同じ操作

リダイヤル発信
最後の発信履歴へリダイヤル発信可能です。
デバイスボタン
3秒間長押し
サウンド リダイヤル

Ⅳ Siri / googleアシスタントの音声認識機能を起動する。

音声認識機能を開始
デバイス1に接続した携帯電話のみ操作が可能です
インカム通話中は通話をOFFにしてから
デバイスボタン
2回押す
ボイスコマンド
○○さんに 電話 いま何時？
※「Hey Siri」「OK Google」の発話による起動はできません。

B+COM同士で通話してみよう

B+LINK対応機種同士のB+LINK通話の場合

☒ B+LINK™

Ⅰ B+LINK対応機種同士を最大6台で同時にペアリング（初期登録）する。

①
みんなで近くに集まり
電源ONにする
デバイスは接続したままでOK
LED 青 点滅

②
みんなでB1とB2を
同時に3秒間長押し
B1 B2
LED 緑 高速点滅
サウンド B+LINKグループ登録

③
誰か一人B1とB2を
同時に1回押す
B1 B2
LED 緑 点灯
サウンド サーチ開始

④
30秒程度待つ
自動で会話が
始まれば完了
LED 緑 ゆっくり点滅
サウンド B+LINK開始

Ⅱ ペアリング済みのB+LINK対応機種でB＋LINKグループ通話する。

①
誰か一人B1とB2を
同時に1回押す
B1 B2
LED 緑 点灯
サウンド ポンッポーン（呼出音）

②
自動で会話が
始まれば完了
LED 緑 ゆっくり点滅
サウンド B+LINK開始

B+LINKを切断
通話中にB1とB2を
同時に1回押す
B1 B2
LED 青 点滅
サウンド B+LINK終了

そのほかのバイクインカムと通話する場合

※他社インカムとの動作・通話品質の保証はいたしておりません。

**B+LINK対応機種以外のバイクインカムと通話する場合は、
ユニバーサルインターコール・レシーブ機能を使用します。**

ペアリング方法

①
SX1
電源ONの状態で
B2ボタンを長押し
B2
LED 赤 点滅
サウンド B+COM2 ペアリング

②
接続相手のインカム
「ユニバーサル
インターコール」の
操作を行う
※各インカムの取扱説明書を
ご参照ください

③
自動で会話が始まれば完了
LED 青 ゆっくり点滅
サウンド B+COM2接続

会話が始められない場合
本製品を再起動してB2ボタンを押すか、相手インカム側で
「登録済みインカムを呼び出す」操作を行ってください。

※同じ手順で、本製品のB1ボタンにもペアリング情報を登録可能です。ただし、B+LINK登録情報がすでに存在する場合、B1ボタンへの登録はできません。リセットモードでB+LINK登録情報を消去してからペアリングを行ってください。

※PC/スマートフォンアプリから設定できる本製品の「ユニバーサルインターコール」は、基本的に「オフ(初期設定)」にしてください。接続相手のバイクインカムがユニバーサル接続機能を持たない場合のみ、「オン」に変更してください。

くわしい解説&操作動画

過去モデルのB+COMや、他社製インカムとの接続に使用するユニバーサル
接続機能について、サイン・ハウスWEBでご紹介しています。

http://sygnhouse.jp/products/bcom/tips/universal/

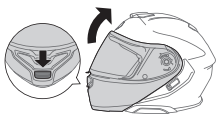
取付け手順

B+COM SX1の音質性能を最大限発揮させるには、取付位置が重要です。

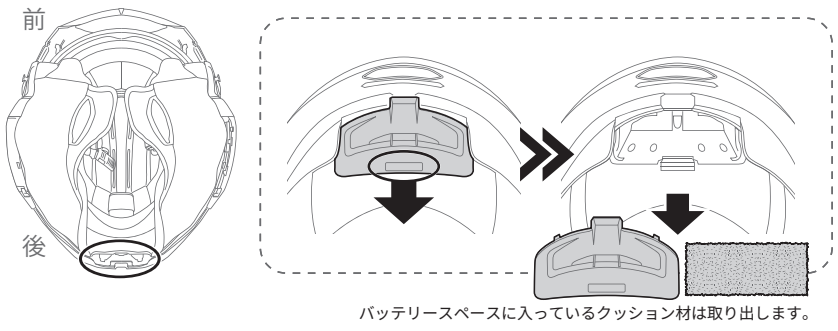
⚠ 装着時の注意点　●このクイックマニュアルおよびヘルメットの取扱説明書に従って作業を行ってください。 ●余った配線は、傷つけないようヘルメットの帽体と内装の間に入れてください。 ●作業終了後、配線接続の最終確認をしてから動作確認を行ってください。

ヘルメットの準備

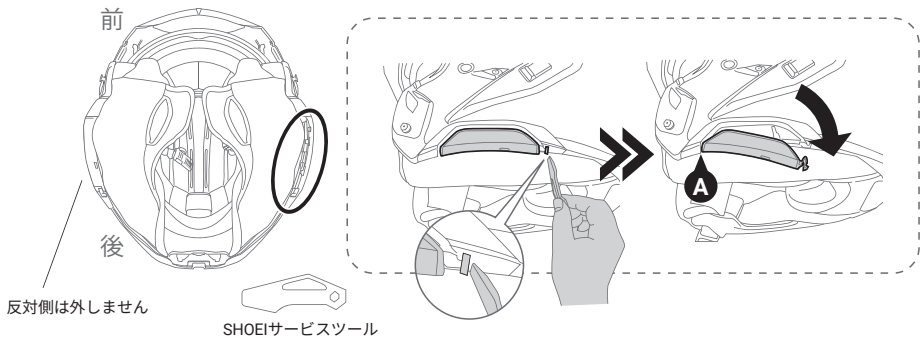
シールドやフェイスカバーなどを開いて
取り付けすることをおすすめします



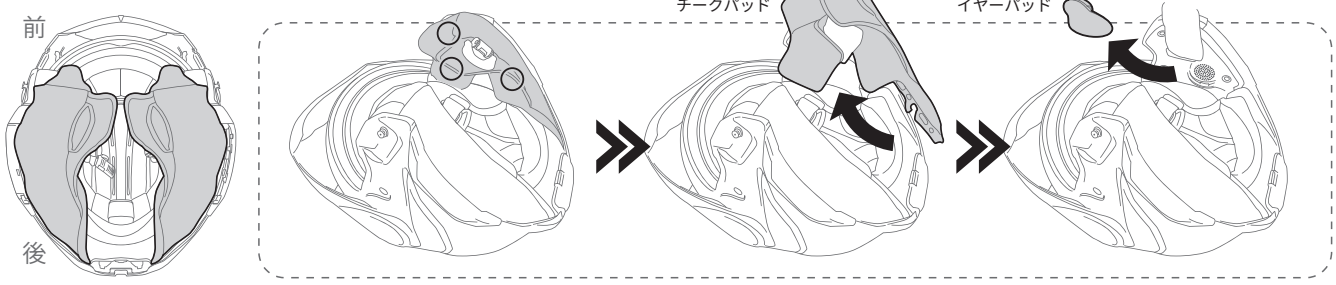
1 ツメを矢印の方向に押してロックを外した後、
バッテリースペース用カバーを取外します。



2 SHOEIサービスツール(ヘルメット同梱品)を使い、ツメの隙間に差し込んでロックを外します。
図Aを支点にして、矢印方向にスライドして左側のインターコムベースを取り外します。

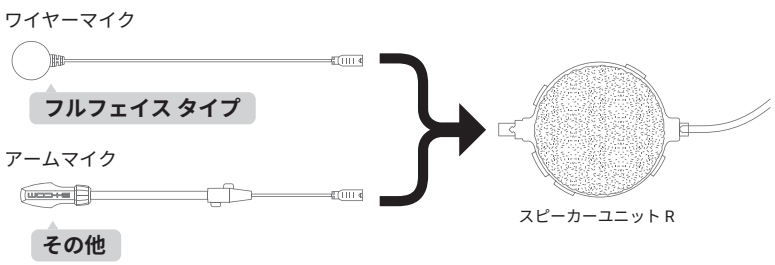


3 図を参考にホックを外しチークパッドを取り出した後、イヤーパッドを取り外します。
詳細は各SHOEIヘルメットの取扱説明書をご確認ください。
※反対側も同じ手順で取り外します。

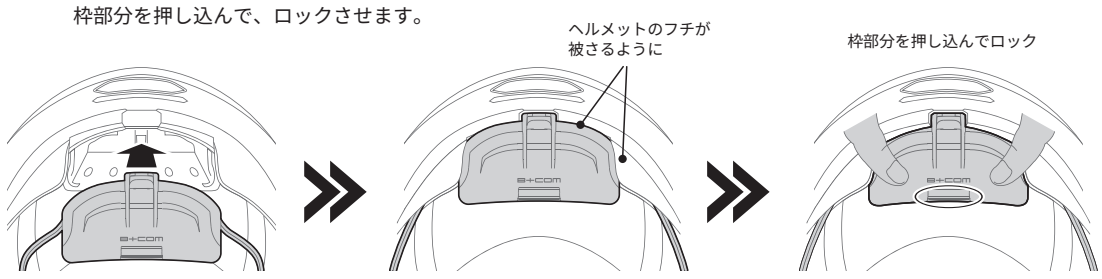


ヘッドセットをヘルメットに取り付ける

1 ヘルメットのタイプに応じてマイクを選択して、
右側スピーカーの端子へ接続します。

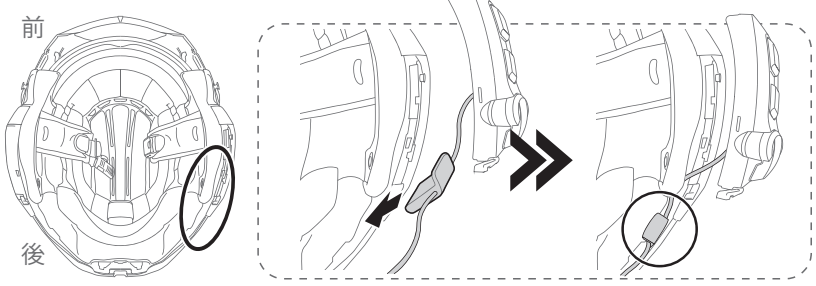


2 バッテリースペースにメインユニットを矢印方向へ、
ヘルメットのフチが被さるように取り付けます。
枠部分を押し込んで、ロックさせます。

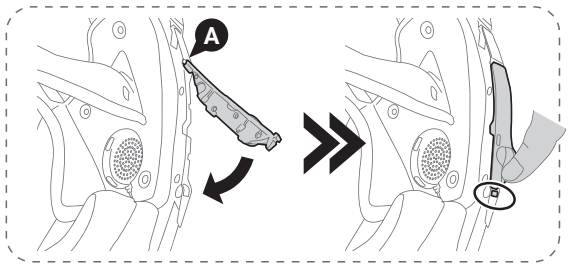


左サイド

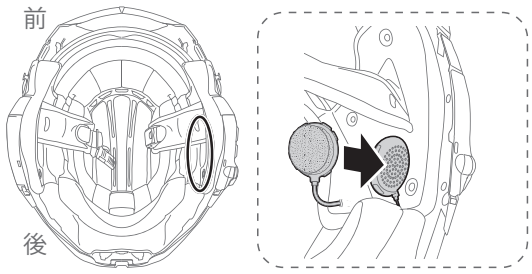
3 図の位置にある隙間へ、
コネクタパーツを差し込みます。



4 ボタンユニットを、図Aを支点にして矢印方向へ
スライドして取り付けます。
枠部分を押し込んで、ロックさせます。

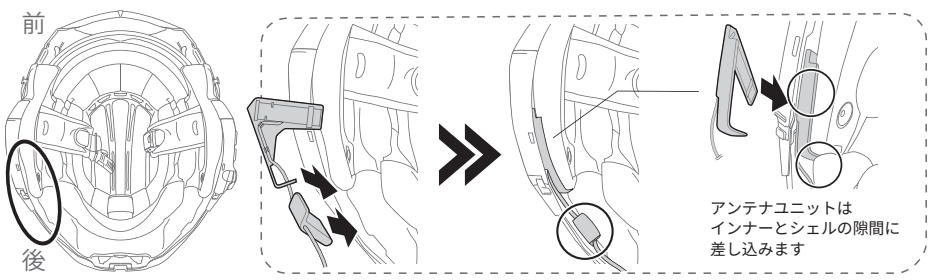


5 スピーカーの配線を溝に合わせ、はめ込みます。

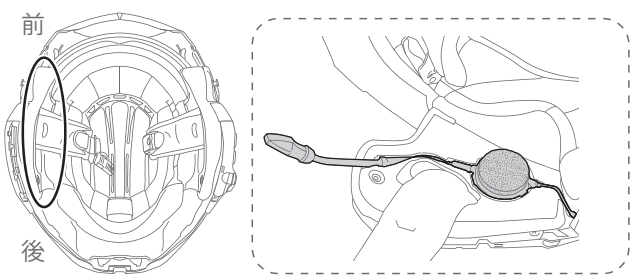


右サイド

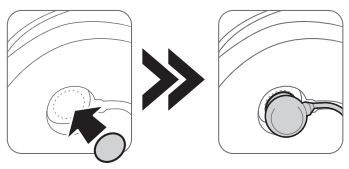
6 図の位置にある隙間へ、
コネクタパーツとアンテナユニットを差し込みます。



7 スピーカー、マイクの配線を溝に合わせ、はめ込みます。

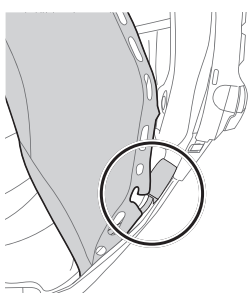


ⓘ ワイヤーマイクは付属の
面ファスナーで貼り付けます。
※フルフェイスヘルメットの場合



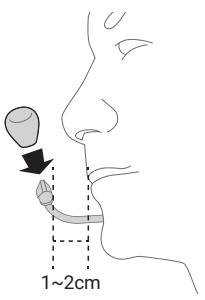
8 チークパッド左右を取り付けます。
詳細は各SHOEIヘルメットの取扱説明書を
ご確認ください。

ⓘ メインユニットとコネクタパーツを
つなぐ配線が内側になるように
取り付けてください。



9 アームマイク使用時、マイクは口元から
1~2cm離れたところに設置してください。

ⓘ アームマイク用スポンジはマイクに
被せる事で物理的に風切り音を軽減します。
必ず使用してください。



**取付方法について
詳しくは
こちらをご覧ください**

https://sygnhouse.jp/products/bcom/bcom_helmet#sx1